

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
相談支援体制の充実 相談員の質の向上	ケースの共有・事例検討	P. 27 P. 30 P. 52 P. 53	毎月連絡会で実施している	連絡会の場で実施することで、出席する相談支援専門員の多様な意見を各々が参考にすることができ、相談支援の向上につながる 情報交換を行うことで家族問題や多問題を抱えるケースに取り組むことができている	終了・継続 → 同じ・変更	相談支援専門員としてのスキルアップは、日頃から取り組むことが必要なため。
	多職種や他連絡会と合同事例検討会	P. 30	「居宅介護事業所と相談支援専門員との意見交換及びケース検討会」 7月19日実施	居宅介護事業所（ヘルパー）の考え方、相談支援専門員の考え方を改めて確認し、今後の支援に活かすことができる話があった	終了・継続 → 同じ・変更	ヘルパーに限らず他の職種も交えた検討の必要性はあるが、全体の業務量との調整による。
	相談支援従事者初任者研修フォローアップ講座の実施	P. 30	11月30日実施 対象者2名	初任者研修受講者の作成したサービス等利用計画に対し助言を行った	終了・継続 → 同じ・変更	次年度からは基幹相談支援センターにこの役割を担うことを想定している。
	相談支援従事者現任研修の実習受け入れ	P. 30	7月19日、7月29日、9月8日の3日間実施 対象者9名	小牧市の地域資源及び、小牧市障害者自立支援協議会について確認した	終了・継続 → 同じ・変更	次年度からは基幹相談支援センターにこの役割を担うことを想定している。
学校との連携	特別支援学校と進路の情報共有・事例検討会	P. 42	各学校に電話で状況確認を行った	検討が必要な事例はなかった	終了・継続 → 同じ・変更	今年度は事例検討が必要なケースはなかったが、今後も学校との連携は必要なため、情報交換を行っていく

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更